

HONTAN

図書館ボランティア HONTAN が
旬の図書館情報をお知らせします。
2015年1・2月号 (第53号)
あけましておめでとうございます!!



LIBRIECES

HONTANメンバーが
毎回テーマに合った
おすすめ作品を
紹介しますよ!

『図書館戦争』

有川浩 913.6/A-1

わくわくしたい、笑いたいと
思ったときに読みたくなる本です。
個性的な登場人物ばかりで、
何度読んでもあきません!

ぎいの
おすすめ!

あんこの
おすすめ!

『カラスの親指』

道尾秀介 913.6/M

「そういうことか!」と最後に
すっきりできる作品です。
そして、答え合わせのつもりで
あなたはもう一度ページをめくるはず!

今回のテーマは、

「再読したい本」
です。

たいていの本は一回読んで
しまえば満足しますよね。
しかし!! 偶然にも何度
読んでもあなたを夢中に
させる本に出会えるときが
あります! Let's 読書!

『白夜行』

東野圭吾

913.6/H

読んだあとに、
いつまでも余韻が残る作品です。
何度読んでも新鮮で
深く考えさせられます。

スーモの

おすすめ!

かなづちの

おすすめ!

『告白』

湊かなえ

913.6/M

独特な場面展開で、ハマれば
何度でも読みたくなるような
クセのある一冊です。
あなたもぜひハマってみては!

『そして二人だけになった』

森博嗣 913.6/M

途中までは、予想通りの展開だが
ラストで頭がついていかない(まじ)
不思議な展開に! 何回も
読まないで理解できません!!(笑)

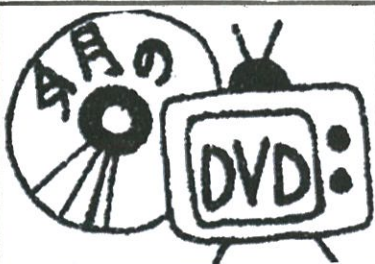
あんこの
おすすめ!

きょうの
おすすめ!

『八甲田山 死の彷徨』

新田次郎 918.6/S-44

極限状態における
人間の弱さと強さ。
結構再読しちやっています!!



『ファイト・クラブ』

778.72/F

「私」は物質的に満たされている。しかし、何か物足りない。そんなある日の
こと。「俺を殴ってくれ」

「私」は偶然知り合ったタイラーにこう頼まれる。馬鹿げている。それでも殴ってみる。
そして殴り返される。痛い…。しかし、そこには不思議と「充足」があった。「私」は

タイラーとともに「Fight Club」を立ち上げる。目的は殴り合うこと。単純だが、その中で「私」は満た
されるのであった。だが、組織はタイラーによって思わぬ方向に向かっていく……。

社会は我々にあるべき姿を提示する。流行のファッション、理想的な告白の仕方、グローバル視点
など。しかし、

「それは『お前』にとって本当に大事なことか？」

少々暴力的だが、この作品はそう問いかけている。

今日のDVDですが、本作はビデオレカ図書館にありません。ご了承ください。

<のぞみ>



今回は、HONTAN×バーが「2015年!こんな本も読んでみようかな」というテーマでおしゃべりしてみました。

EI 個人的にはノンフィクションを中心に読んでいきたいです。2014年はフィクションものばかりを読んでいたので、違うジャンルを讀みたいかなという気持ちもありますし、最近歴史に少し興味があるのでノンフィクションを読んでみたいかな、と。といっても、どうしても最新の本に興味がいきがちになってしまうので、

新しい、古いに限らずどんどん読んでいけたらいいかなと思っています。
あんこ わたしも最新の本を読んでしまいがちです…。でも今年には有名な古い作品を讀もうと思っています。時間のある学生のうちにいろんな本と出会って、読んでみて、楽しみたいです。そして、村上春樹さんに挑戦しようと思っています!最初はやっぱり『1Q84』の森田からですかね!

スーモ 私は村上春樹さんだからやっぱり『1Q84』を推しますね〜。一気に読むと読了後も1Q84ワールドから抜けられなくなって非常に楽しいです。今年が学生最後の年になるので、できるだけ長編小説を讀みたいと思っています!目標としてはハリ・ポッターシリーズを讀み返したいです。

さよう ノンフィクションもいいですね!でも一時期、ノンフィクションだからと

震災とか、戦争とか、学ぶことはたくさんあるのですが、気持ちが悪くならないように本ばかり読んでしまって引きずられてしまったことがあったので(笑)なので、楽しいノンフィクションの本とかスカッとする本も讀みたいです!何だかんだ私も村上春樹さんの本もまだ手を出していないので讀んでみたいですね。あとシリーズ作品も!今年も村上春樹さん然り今まで讀んだことのないジャンルにも手を出してみたいです。特に、青春小説とか恋愛物とか、おちがゆくて手が出せなかったのが今年こそ挑戦してみようかな……!!
あんこ 『1Q84』の最後の本っていつ出版されるのでしょうか…。村上さんはもう続きを書かないと発言していたのを聞いたことがあります。(笑)とにかく、今年も本を讀むぞ!!ですね。

『杉下右京の事件簿』 碓卵人 913.6 / EI

国民的な刑事ドラマと言えば、「相棒」シリーズ。現在もシーズン13が放映中です。私も相棒ファンで、とても好んで見えています。杉下右京さんを始めた個性豊かなキャラクターや難解な事件も魅力ですが、犯罪を行う人々にも惹かれてしまうところも、他の作品にはない相棒の一つの魅力だと思っています。

そんな相棒シリーズにノベライズ版があるのはご存知でしょうか? ドラマをノベライズしたものもありますが、今回ご紹介するのはそれとは違い完全にオリジナルなノベライズ版です。特徴なのは杉下さんと行重を共にしている「相棒」は出てこないということです。この本には2つの話が入っています。

1つ目はイギリス、そして2つ目は奄美大島。それぞれの地では古くから伝わる「伝説」があります。その伝説を見た者、聞いた者、体験した者は、また伝説に巻き込まれてしまう。杉下さんの周囲でもその伝説をなぞらせた事件が次々に起こります。それは本当に伝説からなるものなのか、それとも……。いつもの特命係から離れた違う地でも、杉下さんは変わらず、自由に、そして真摯に一つ一つの事件に立ち向かいます。

ドラマでみる相棒も面白いですが、文章で相棒を見てみるのもいつもとは違う発見ができるのではないのでしょうか。



< さよう >



ダ・ヴィンチ 1月号

今月のダ・ヴィンチの注目は表紙にも大々的に書かれている「Book Of The Year 2014」今年ブックランキングを小説、コミックなどの様々なジャンルに分けて紹介しており、何か本を讀みたい人や興味が湧くような本を探している人にオススメの特集です。

また、TVでも宣伝している能年玲奈主演の『海月姫』についても掲載されています。原作は東村アキコによるコミックでアニメ化もされました。ほかにも、『殉愛』百田尚樹、『GOSICK BLUE』桜庭一樹、『それでも前へ進む』伊集院静などのインタビューも載っているので讀み応え十分です。何となくでも讀んでみたいかが「でしょうか」。

< EI >

今年一発目の学生展示のテーマは「アメリカ文学特集」です。私が現在、伊藤華先生の授業で学んでおもしろいと思った作品をどどん!と紹介。アメリカ文学ならではの、文章の雰囲気も味わってみましょう。
< あんこ >

学生展示

あけましておめでとうございませう! 1年おという間だと感じる今日この頃です。1日1日を一生けん命生きようというのが個人的な目標です(笑) 今日できることは今日やらねば!! うんうん!! 1日30時間くらいに頑張ってほしいですね…。